

平成28年度 **教育費** 当初予算の概要

川越市の平成28年度一般会計当初予算額は1,109億6,000万円。そのうち、教育費は124億2,631万2千円で、11.2%を占めています。この予算は、どのように使われるか、その概要をお知らせします。

教育費合計 124億2,631万2千円



学校給食施設

学校保健費 (31億9,912万9千円)

学校保健・学校給食に関することに使います。

主な事業

- 学校保健活動の充実
- 学校給食センター運営管理
- 学校給食センター施設整備

社会教育費 (25億6,883万9千円)

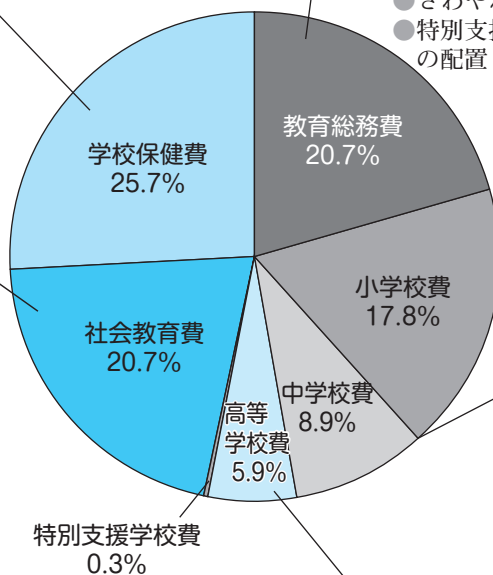
社会教育に関する事業、文化財の保存・整備などに使います。

主な事業

- 川越・地域子どもサポート推進
- 仮称霞ヶ関西公民館建設推進
- 学童保育室運営管理
- 南古谷学童保育室整備
- 時の鐘耐震化
- 山王塚古墳調査
- 河越館跡整備
- 博物館の充実
- 蔵造り資料館耐震化
- 図書館資料の充実



蔵造り資料館



高等学校費 (7億2,944万円)

特別支援学校費 (3,961万4千円)

市立川越高等学校・市立特別支援学校の運営管理などに使います。

主な事業

- 教育情報機器の整備・充実
- 空調設備設置

教育総務費 (25億7,494万4千円)

教育委員会全般に関すること、教職員の研修、特色ある学校づくりなどに使います。

主な事業

- スクールソーシャルワーカーの配置
- オールマイティーチャーターの配置
- ネットパトロール
- スクールランチ作戦
- 科学わくわくラーニングプログラム
- 英語指導助手配置
- 英語指導ボランティアの派遣
- さわやか相談員の配置
- 特別支援教育支援員の配置



科学わくわくラーニングプログラム

小学校費 (22億576万3千円)

中学校費 (11億858万3千円)

小中学校の運営管理、施設整備などに使います。

主な事業

- 小中学校施設整備
- 小学校普通教室空調設備整備
- 小中学校大規模改造
- 南古谷小学校増築
- 小中学校指導事務
- 小中学校情報教育推進
- タブレット端末導入及び校内LAN敷設



平成27年度に大規模改造工事を実施した牛子小学校

新規事業としては、「小学校普通教室空調設備整備」、小中学校においてICTを活用した授業の実践を行うため、「タブレット端末導入及び校内LAN敷設」のほか、「特別支援学校の普通教室等への空調設備設置」、「英語指導ボランティアの派遣」、「蔵造り資料館の耐震補強工事」を実施します。

主要な事業としては、老朽化した学校施設設備を改修し、教育環境の改善を図るため、「小中学校大規模改造工事、トイレ改修工事」を実施します。また、「学童保育室の運営管理」の充実を図るとともに、老朽化、狭あい化に対応した施設整備、「仮称霞ヶ関西公民館の建設」を推進します。

学校教育では、各学校のさまざまな課題に対応するための「オールマイティーチャーター配置事業」、いじめ問題や生徒指導上の諸課題に対応するために生徒指導員を配置する「スクールランチ作戦」、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するための「英語指導助手配置事業」を引き続き実施します。また、新学校給食センターの本体工事に着手するとともに、既存の学校給食センターの施設改修等を実施します。

新
規事業・主
要事業は…

新教育長あいらつ

平成二十八年四月一日付で、川越市教育委員会教育長に、新保正俊
教育長が就任しました。保護者の皆さんへのメッセージを紹介します。



教育長
しんぼ まさとし
新保 正俊

みなさんこんにちは。この四月一日に教育長に就任しました新保正俊でございます。

今年度より、川越市教育委員会は、新たな制度でスタートします。市民の皆様にも、さらに身近で透明性のある教育委員会を目指してまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。

さて、川越市では、今年度より平成三十二年までの五年間を計画期間とする「第二次川越市教育振興基本計画」を策定いたしました。これまでの「生きる力と学びを育む川越市の教育」をさらに前進させ、次代を担いたくましく生

きる児童生徒を育ててまいります。一人ひとりの子どもは、川越市の宝、さらには国の宝です。子どもたちを育てるのは、学校と家庭、地域を含めた市の使命であります。教育委員会は、学校教育を家庭と地域、市民の皆様を支えていただくためにも、家庭と地域への支援、生きがいのもてる市民社会の実現に努めていかなくはなりません。

各学校には伝統と創意工夫された教育があります。地域社会には、子ども育成に向けた独自の取組が、市には、多くの歴史遺産や文化財、諸団体の活動があります。学校、家庭、地域、市民社会が相互に連携し、共助の精神で、それぞれが持つよさを出し合いながら子どもたちを育てていくことが大切です。

私は、「生きる力と学びを育む」ことは、一人ひとりの子どもが心豊かで健やかに、将来に向けて自立できる力を身につけることだと考えます。そのためには、教育委員会、学校、子どもが元気でなくてはなりません。教育委員会は、教員が子どもと向き合い子どものよさを伸ばせるように、また、子どもがいじめもなく安全・安心に学校生活を送れるように、地域・市民の方々にご支援をいただきますながら努めてまいります。

【略歴紹介】

川越市立今成小学校教諭、寺尾中学校教諭、高階西中学校教頭等を経て、富士見市立水谷中学校校長、川越市立富士見中学校長として学校教育に携わる。教育行政では川越市教育委員会学校教育教育部副部長、同部長等を歴任。本年四月一日、川越市教育委員会教育長に就任する。

教育委員会委員の紹介

川越市教育委員会は、今年度より新体制に移行することになりました。

新体制では委員長と教育長が一本化され、教育委員会は市長が議会の同意を得て任命した教育長と四名の委員で構成されます。なお、現在の委員は、次の方々です。



教育長職務代理者
かじかわ まきこ
梶川 牧子



委員
はせがわ ひとし
長谷川 均



委員
はらだ ゆみ
原田 由美



委員
ながい よしのり
長井 良憲

退任教育長

平成二十八年三月三十一日付で、川越市教育行政の発展のためにご尽力いただいた伊藤明教育長が退任されました。



いとう あきら
伊藤 明



お子様の給食費等を援助します!(就学援助のお知らせ)

川越市では、経済的理由で公立小中学校への就学が困難なご家庭に対し、学校給食費や学用品費などの一部を援助しています。

「児童扶養手当を受給中の方(児童手当とは異なります)」や「世帯全員の所得額の合計が川越市教育委員会の定める基準額未満の方(基準額の具体例は右表をご覧ください)」等が対象となります。

援助をご希望の場合、毎年申請が必要です。詳しくは教育財務課へお問い合わせください。

<基準額の目安> (注) あくまで目安です。詳しくはお問い合わせください。

世帯構成(年齢)	持家の場合	借家の家賃月額 61,000円の場合
親(38)、子(6)	約263万円	約338万円
父(38)、母(38)、子(6)	約296万円	約371万円
父(38)、母(38)、子(8)、子(6)	約369万円	約444万円

■お問い合わせ先 教育財務課(財務担当) TEL: 224-6083